

エルゴジャパン HP でも
メンテナンスマニュアルをご案内しています。

PULITO55

メンテナンスマニュアル

●保証期間及び内容

保証期間 3年間保証(メカ部)但し、脚部1年・アーム1年 ※お引き渡し日より

● 下記の場合、保証期間内でも保証適用外になりますのでご注意ください。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1. メンテナンスマニュアルを読まずに誤った使用で発生した故障や損傷 | 7. 直射日光や薬品によって発生した変色や劣化による故障や損傷 |
| 2. 指定業者以外で行われた修理や改造で発生した故障や損傷 | 8. 不注意な取扱やお手入れの不足等による故障や損傷 |
| 3. 部品を指定通りに装着していないことにより発生した故障や損傷 | 9. 天候や天災地変等の外的な要因による故障や損傷 |
| 4. エルゴジャパンが推奨しない部品や付属品を使用して発生した故障や損傷 | 10. 国外での使用による故障や損傷 |
| 5. 刃物やタバコ等により故意に発生した故障や損傷 | 11. ホール店舗以外で使用された場合の故障や損傷 |
| 6. 自然な磨耗や消耗で起きる劣化で発生した故障や損傷 | |

お引き渡し日 年 月 日

※納品日の記入がない場合は保証が無効となります。ご注意ください。

製造販売元

株式会社エルゴジャパン

〒141-0032

東京都品川区大崎 1-6-4

新大崎勸業ビルディング 7F

TEL : 03-5436-6761

FAX : 03-5436-6762

販売店



エルゴノミクスチェアお買い上げのお客様へ

このたびは、PULITO55をお買い上げいただきまして、

誠にありがとうございます。

エルゴジャパンの製品を快適・安全にお使いいただくために、

ご使用前に、必ず本書をひととおりお読みいただき、

正しくご使用くださいますようお願いいたします。

また、巻末の保証期間及び保証内容等をよくお読みいただき、

「お引き渡し日・販売店名」が記入されているかを必ずご確認ください。

本書を紛失された場合は、

販売店又はエルゴジャパンまでご連絡ください。

安全上のご注意

本製品をホールやお客様が安心してご使用いただくために、必ずお守りいただく事項を説明しております。誤った使用をして、故障や損傷を未然に防ぐためにも、使用上の注意は必ずお守りください。

こんな症状にご注意ください。

ホールでの過酷な使用環境のもとで長年ご使用いただくと、椅子を支えるポールやアンカーベース等の経年劣化により、椅子のガタつきや傾き、ガス上下昇降やオートリタンの機能低下、スライドの不具合など、さまざまな症状が現れてきます。そのまま放置しておく、故障や損傷の原因となります。お早目に部品の修理・交換を行うようお願いいたします。

本書中のマークの意味は以下のとおりです。



注意

必ず守ってください。人が傷害を負ったり、椅子の故障や損傷につながるおそれがあります。



禁止

絶対に避けてください。ホールやお客様の安全を大きく損うおそれがあります。



専門業者にて修理・交換

専門知識や技術が必要なメンテナンスです。



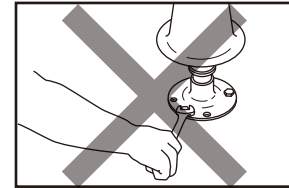
ホールにて交換可能

本マニュアルにしたがってメンテナンスを行ってください。

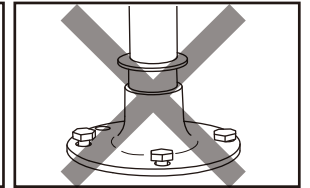


次の行為は絶対に避けてください。

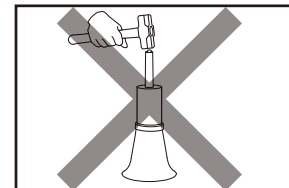
アンカーボルトを回す



アンカーボルトの緩みを放置する



ハンマーで直接ポールをたたく



アンカーベースのボルトを絞めたり緩めたりするとボルトが折れ破損し、転倒の原因にもなり大変危険です。ベースの歪みやボルトの緩みを発見したら放置せず、すぐに販売店またはエルゴジャパンまでご連絡ください。そのまま使用し続けるとケガや故障の原因となります。



次の注意事項を必ず守ってください。



ホール内で、ホールチェアとしての用途以外の使用はしないでください。



椅子の上に立ち上がりやすくと転倒やケガの原因になり危険です。



着座するときは必ず一人で着座してください。



椅子の上に機械台など重い物を乗せないでください。



背面やアームなど座面以外に腰掛けたりすると転倒やケガの原因になり危険です。



着座した状態で、膳板に足を乗せたり、無理に膳板や幕板を足で押したりすると転倒やケガの原因になり危険です。



着座する際は、背面や座面の一部を持ちながら着座してください。



置型円盤やキャスターベース等の固定されていない椅子は、床面より脚部の一部が浮くような座り方をすると転倒やケガの原因になり危険です。



椅子の可動部や隙間などに手や指を入れたり、物を入れたりすると、ケガや故障の原因になり危険です。



椅子及び脚部を分解又は改造する事は、ケガや故障の原因になり危険です。



火に近づけて使用しないでください。火災の原因になります。



直射日光の当たる場所での使用は、変色や変形の原因になります。



直接、水のかかる場所や湿度の高い場所での使用は、サビや変色・変形の原因になります。



使用中にボルトやネジの緩みなどが見つかった場合、そのまま使用を続けるとケガや故障の原因となり危険です。販売店又はエルゴジャパンまでご連絡ください。

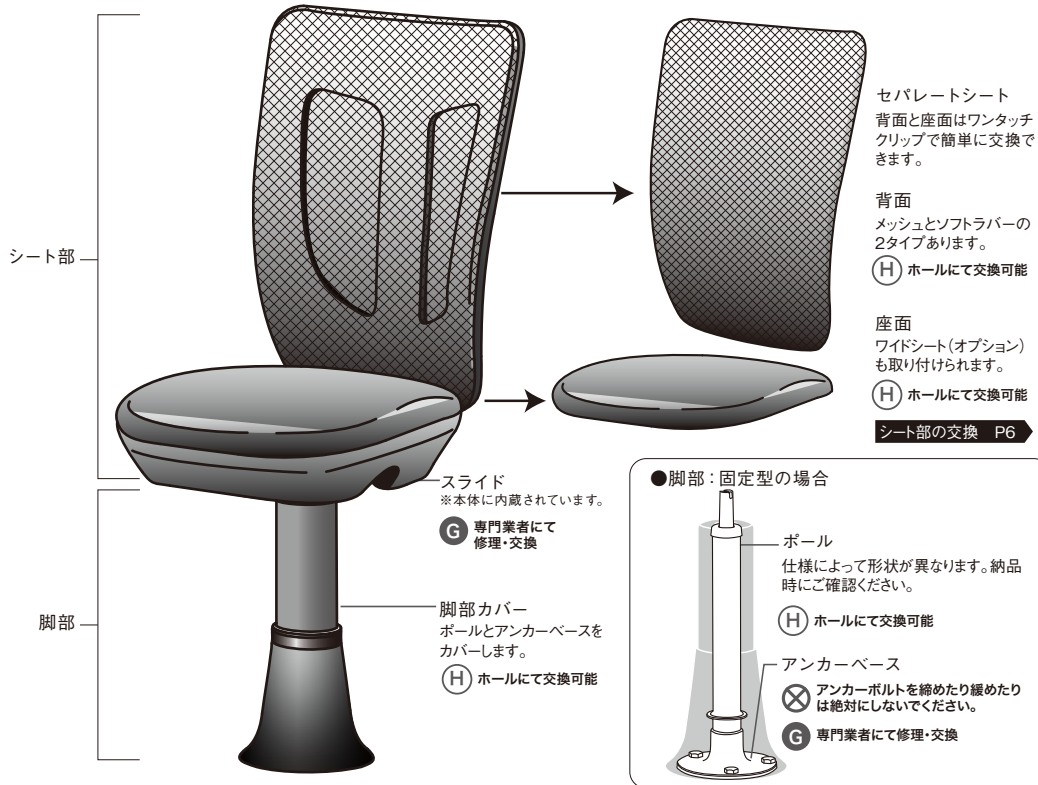
目次 contents

各部の名称と働き	3~4
日常の点検と修理・交換 シート部	5
シート部の交換(座面・背面)	6
日常の点検と修理・交換 脚部	7
椅子(シート部)を取外す	7
ポールの交換	8~9
椅子(シート部)の取付け	9
ホール内で椅子(固定型)を一時的に取外す場合	10

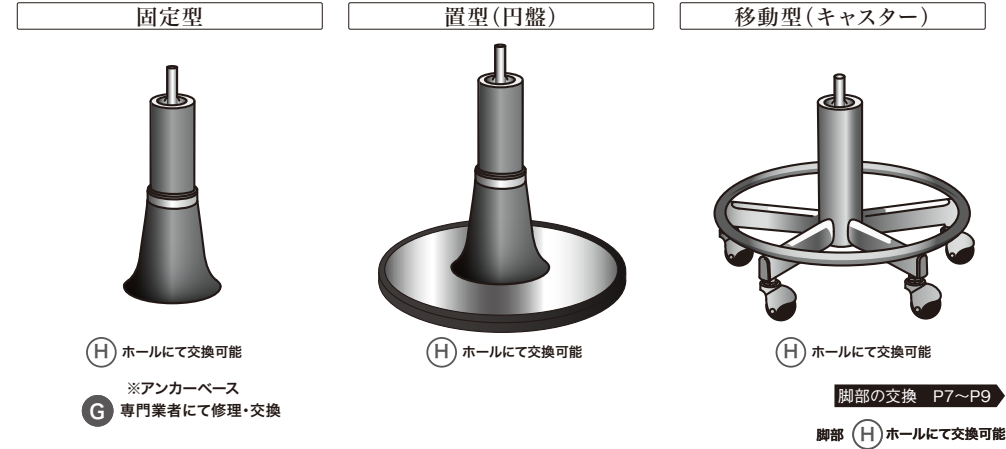
各部の名称と働き

PULITO55

●構成部品

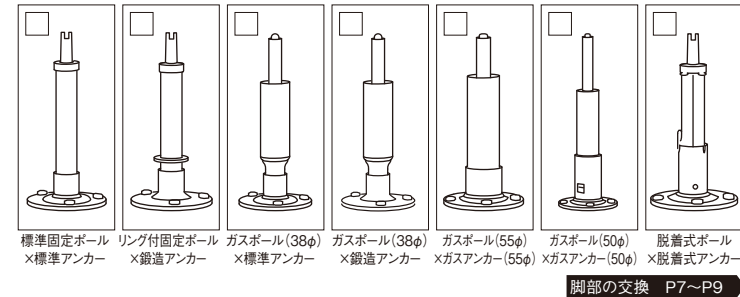


●脚部形状

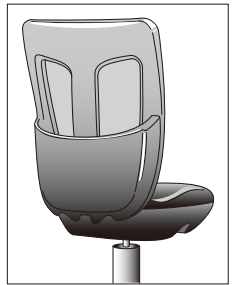


●脚部・固定型

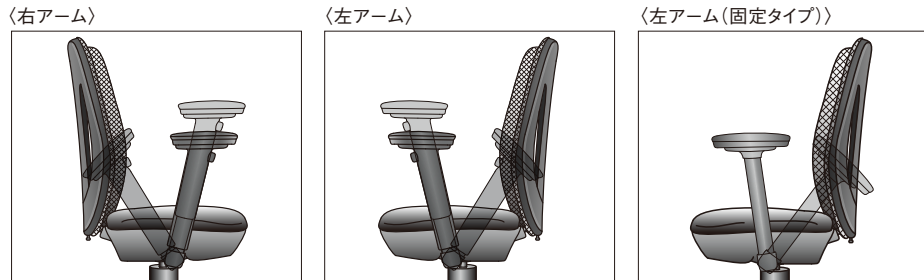
固定型の場合はボールとアンカーベースの組み合わせによって7種類に分けられます。各々脚部の交換方法が異なりますのでご注意ください。



●POP ケース



●アームの機能と使い方



赤いボタンを押しながら高さを変えることができます。(上下6段階)
ヘッド部分を持って後方へ収納可能です。

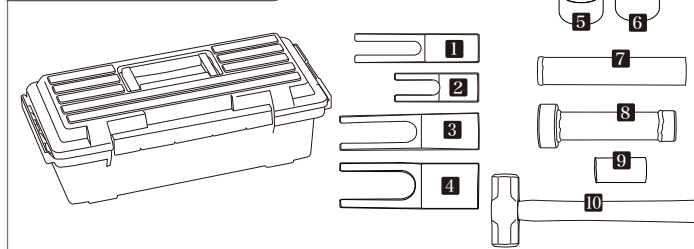
赤いボタンを押しながら高さを変えることができます。(上下6段階)
ヘッド部分を持って後方へ収納可能です。

高さの変更はできません。ヘッド部分を持って後方へ収納可能です。

※アームを収納する際は、高さを一番下にすれば邪魔になりません。

(I) アームに過度な荷重をかけると故障の原因となります。 (G) 専門業者にて修理・交換

●メンテナンスキット



1 取外しジグ(M1)

2 取外しジグ(M2)

3 取外しジグ(M3)

4 取外しジグ(M4)

5 スペース-C(S1)

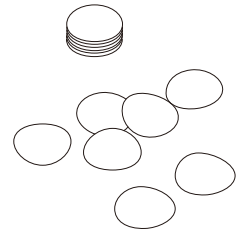
6 スペース-C(S2)

7 ポールたたき(P1)

8 ポールたたき(P2)

●リペアキット

(H) ホールにて交換可能
タバコの焦げ跡などを簡単に修復する事ができます。



リペアキットの使い方 P5

※メンテナンスキットの工具を扱う際には、同梱の軍手をしてケガがないように作業を行ってください。

日常の点検と修理・交換 シート部

シート部や脚部は、定期的な点検・メンテナンスを行うことで、長期間にわたって快適にご使用いただくことができます。

●シート部(座面・背面)の点検

こんなケースが見つかったら修理・交換が必要になります。

1 シートカバーが汚れている。
 (H) 日々のお手入れと清掃 **お掃除 P5**

4 経年からくるシートのヘタリがある。
 (H) シート部の交換(座面・背面) **P6**

2 シートにタバコの焦げ跡がある。
 (H) 日々のお手入れと清掃 **リペアキット P5**

5 シートのグラつきや異音がある。
 (G) 販売店またはエルゴジャパンへすぐ連絡

3 シートの一部に破れがある。
 (H) シート部の交換(座面・背面) **P6**

6 シートが極端に後傾している。
 (G) 販売店またはエルゴジャパンへすぐ連絡

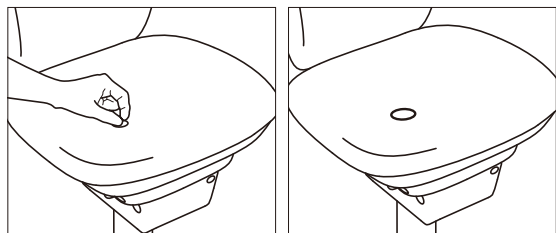
(H) ホールにて交換可能 (G) 専門業者にて修理・交換

●日々のお手入れと清掃

飲み物などの汚れ、タバコの焦げ跡等は、ホールでも簡単にお手入れできます。

リペアキットを使った修理

ビニールレザー専用のキットを使って簡単にタバコの焦げ跡などを補修することができます。



リペアキットとシートの模様を合わせてシートに貼る位置を決めます。リペアキット裏面の白い紙をはがしてシートに貼ります。

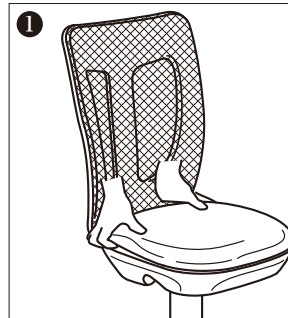
お掃除



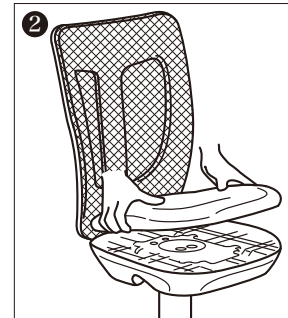
シートの清掃には市販のシートクリーナーの使用も可能です。ご使用の際には、お手元のクリーナーの取扱説明書をご参考ください。

シート部の交換(座面・背面) ※クリップの位置、下図参照

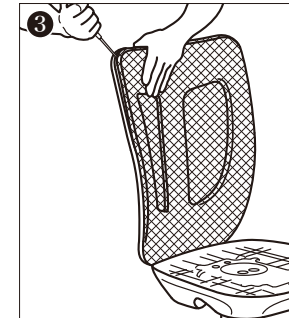
<シートを取外す>



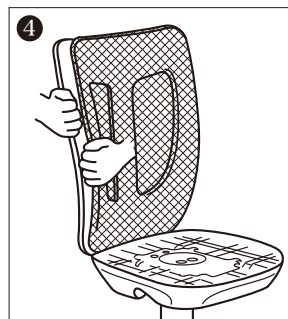
座面後方のウレタン部分と座面受け部分の隙間から座面を持ち上げてJ~Mのクリップを外す。



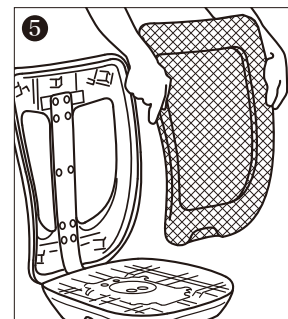
続いて座面先端部の左右を持ち上げてN~Pのクリップを外し、座面の取外しが完了。



背面受けと背面(メッシュ又はソフトラバー)の間にマイナスドライバーを差し込みA~Cのクリップを外す。

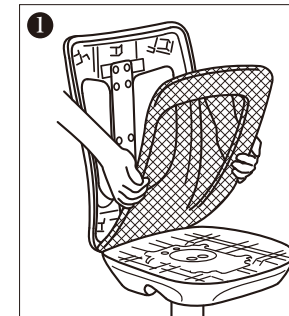


A~Cのクリップが外れたら、背面受けから左右交互にD~Iのクリップを外していく。

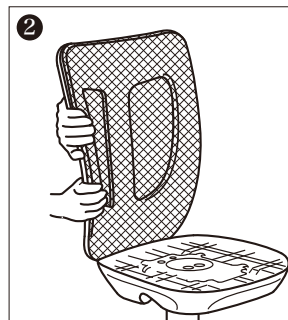


背面が外れる。

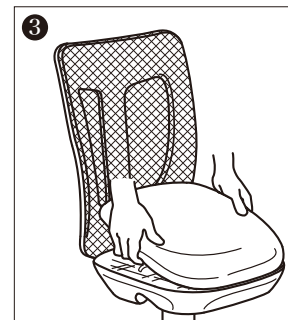
<シートを取付ける>



背面受けと背面のクリップ位置を合わせて、背面下部を押さえながらHとのクリップをはめ込む。

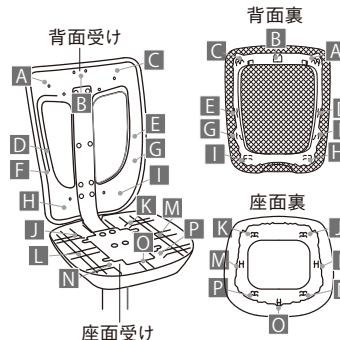


クリップ位置を合わせながら、下から左右交互にA~Gのクリップを押さえながらはめ込む。



背面受けと座面のクリップ位置を合わせて先端から順番にJ~Pのクリップを押さえながらはめ込む。

クリップの位置



※クリップをはめ込む時は、クリップ位置を確認して下さい。無理なはめ込みは、クリップの破損の原因にもなります。

日常の点検と修理・交換 脚部

シートや脚部は、定期的な点検・メンテナンスを行うことで、長期間にわたって快適にご使用いただくことができます。

●脚部の点検

こんなケースが見つかったら修理・交換が必要になります。

- | | |
|---|--|
| 1 アンカーベースがグラついている。
G 販売店またはエルゴジャパンにすぐ連絡 | 4 椅子が正面を向かない(固定型タイプ)。
H ホール内で椅子(固定型)を一時的に取外す場合 P10 |
| 2 アンカーボルトが緩んでいる。
G 販売店またはエルゴジャパンにすぐ連絡 | 5 スライドの可動が悪い。
G 販売店またはエルゴジャパンにすぐ連絡 |
| 3 オートリターンやガス上下昇降しない。
H ホールの交換 P8 | 6 脚部全体でグラつきや異音がある。
G 販売店またはエルゴジャパンにすぐ連絡 |

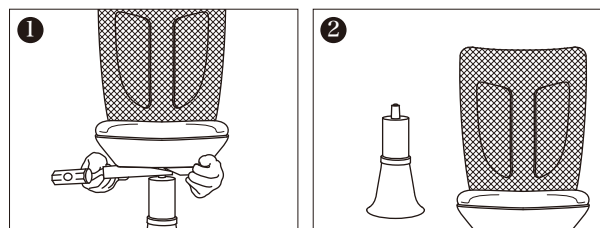
H ホールにて交換可能 G 専門業者ににて修理・交換

椅子(シート部)を取外す

※脚部から椅子(シート部)を取外すのはボールの交換時のみとし、それ以外の時は取外さないでください。

脚部を交換するには、まずシート部を取外す作業が必要になります。その際、固定ボールとガスボール(ガス上下昇降機能)では、取外し方法が異なりますので、ご注意ください。

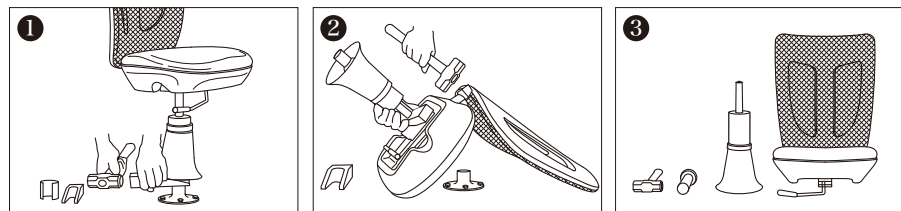
[固定ボールの場合]



シートとボールの間に取外しジグ(M1)を取外したシートを安全な場所に置いてと(M2)を交互に差し込み、ハンマーでから、ボールの交換へ。
たたいてシートを取外す。

ボール交換 P8~P9

[ガスボールの場合] 例(ガスボール38φ)



脚部カバーを上げてアンカーベースとボールの間に取外しジグ(M4)を差し込みハンマーでたたく。 ポールのシャフト部分にスペーサーC(S2)を取外したシートを安全な場所から、ボールの交換へ。
をセットし取外しジグ(M3)をシートとスペーサーの間に差し込み、ハンマーでたたく。

ボール交換 P8~P9

❶ シートから一度取外したガスボールは内部が破損している場合があります、危険ですので、再利用はしないでください。

ボールの交換

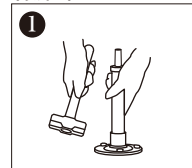
ボールとアンカーの組み合わせに応じた交換作業を行います。

※ハンマーでたたく時はたたき過ぎないようにご注意ください。

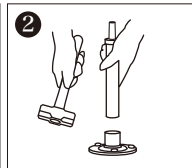
■標準固定ボール×標準アンカー

使用工具 10 ハンマー 7 ボールたたき P1

<取外し>

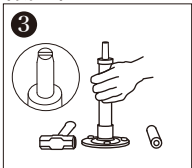


ボールを持ち上げながら、アンカーベースからボールを抜く。

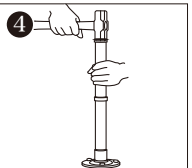


アンカーベースからボールを抜く。

<取付け>



アンカーベースにボールを差し込む。
※ボール先端の溝が遊接台と平行になるようにセット。



ボールたたき(P1)をボールのシャフトにかぶせてハンマーでたたく。

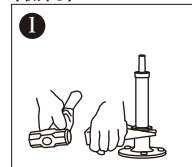


ボールが抜けないことを確認して完了。

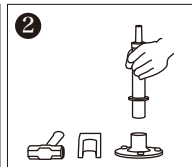
■リング付固定ボール×鍛造アンカー

使用工具 10 ハンマー 4 取り外しジグ M4 7 ボールたたき P1

<取外し>

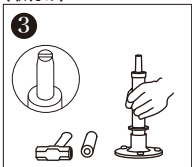


アンカーベースとボールのリングとの間に取外しジグ(M4)を差し込み、ハンマーでたたく。

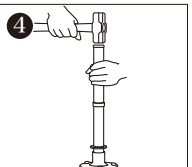


アンカーベースからボールを抜く。

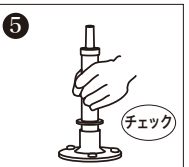
<取付け>



アンカーベースにボールを差し込む。
※ボール先端の溝が遊接台と平行になる位置にセット。



ボールたたき(P1)をボールのシャフトにかぶせてハンマーでたたく。

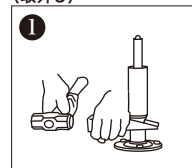


ボールが抜けないことを確認して完了。

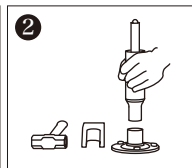
■ガスボール(38φ)×標準アンカー

使用工具 10 ハンマー 4 取り外しジグ M4 8 ボールたたき(ガス用) P2

<取外し>

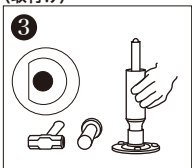


アンカーベースとボールの間に取り外しジグ(M4)を差し込み、ハンマーでたたく。

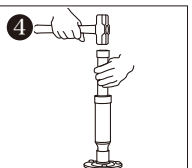


アンカーベースからボールを抜く。

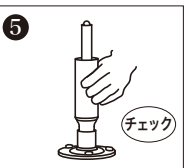
<取付け>



アンカーベースにボールを差し込む。
※ボール先端の溝が遊接台と平行になる位置にセット。



ボールたたき(P2)をボールのシャフトにかぶせてハンマーでたたく。

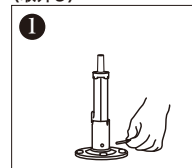


ボールが抜けないことを確認して完了。

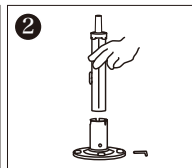
■脱着式ボール×脱着式アンカー

使用工具 不要

<取外し>

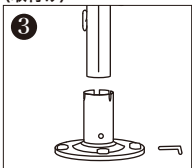


アンカーベースに取り付いているL字ピンを外す。

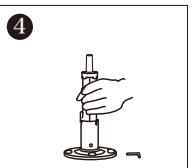


ボールを持って引き上げて抜く。

<取付け>



アンカーベースU字の切込部とボール側突起が合う位置を確認。



ボール先端の溝を遊接台と平行にしながらU字の切込みにはまるようにボールを差し込む。



L字ピンを差し込みにセットし、ボールが抜けないことを確認して完了。

ポール交換

■ 置型(円盤)タイプ

使用工具 10 ハンマー 7 P1 ボールたたき 9 ボール外し

〈取外し〉



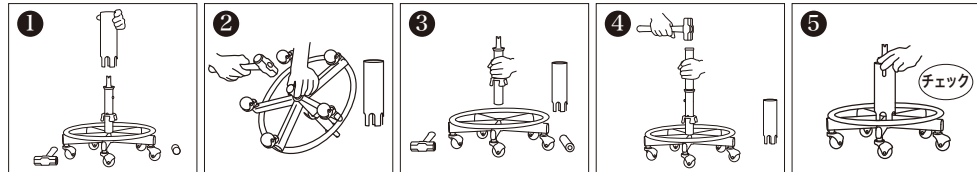
1 脚部カバーを外す。
2 円盤裏にあるボール差込口の部分にボール外しをあて、ハンマーでたたく。
3 円盤からボールを外す。
4 円盤にボールを差し込み、ボールたたき(P1)をボールのシャフトにかぶせてハンマーでたたく。
5 ポールが抜けなことを確認後、脚部カバーをセットして完了。

〈取付け〉

■ 移動型(キャスター)タイプ

使用工具 10 ハンマー 7 P1 ボールたたき 9 ボール外し

〈取外し〉



1 キャスターの脚部カバーを上引き抜く。
2 キャスター裏にあるボール差込口の部分にボール外しをあて、ハンマーでたたく。
3 キャスターからボールを外す。
4 キャスターにボールを差し込み、ボールたたき(P1)をボールのシャフトにかぶせてハンマーでたたく。
5 ポールが抜けなことを確認後、脚部カバーをセットして完了。

〈取付け〉

■ ガスボール(50φ)×ガスアンカー(50φ)

使用工具 10 ハンマー 8 P2 ボールたたき タガネ(天/地)

〈取外し〉

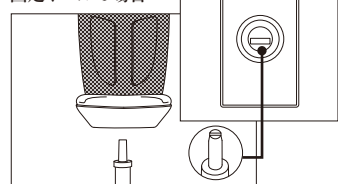


1 アンカーネックの■部分にタガネを差し込み、ハンマーでたたく。
※タガネの天地に注意!
2 アンカーベースからボールを抜く。
3 アンカーベースにボールを差し込む。
※ボール先端のカット部分が左側にくるようにセット。
4 ボールたたき(P2)をボールのシャフトにかぶせてハンマーでたたく。
5 ポールが抜けなことを確認して完了。

〈取付け〉

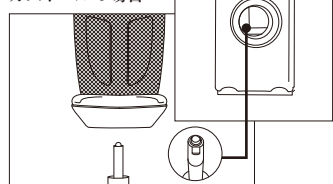
椅子(シート部)の取付け

固定ポールの場合



シート部裏面に内蔵されたスライド側受け口のT字バーに、ボール先端の切り込み(溝)が完全にはまるように上からシートを押し込みます。

ガスポールの場合



シート部裏面に内蔵されたスライド側受け口にボール先端部のDカット部が完全にはまるように上からシートを押し込みます。

椅子(シート部)を脚部に取付けただけ必ず
①シート部を持って持ち上げても脚部から椅子(シート部)が抜けなことを確認する。
②椅子(シート部)に着座して傾きやグラつきがないかを確認する。
③椅子(シート部)の背面を持ち1回転させて椅子(シート部)が抜けなことを確認する。

❗ シートから一度取外したガスポールは内部が破損している場合があり、危険ですので、再利用はしないで下さい。

● ホール内で椅子(固定型)を一時的に取外す場合(アンカーベースは残したまま)

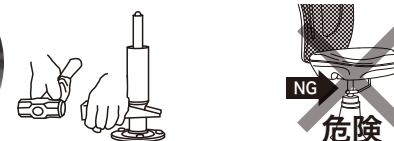
使用工具 10 ハンマー 4 M4 取り外しジグ

例: ガスボール 38φ使用時



1 脚部カバーを上げ、アンカーベースとボールの間に取外しジグ(M4)を差し込み、ハンマーでたたく。

❗ ポールから直接椅子を外すとガスボールの内部が破損する場合がありますので危険です。



2 アンカーベースからボールが外れたら、シート部を持って上に引き上げる。(シートにボールが付いた状態) 外したシート部(ボールが付いた状態)は、そのまま持って運ぶこともできます。また、移動用のキャスターベース等に乗せて運ぶこともできます。

※アンカーベースだけが残りますので、お足下にご注意ください。
※移動用のキャスターベースは販売店またはエルゴジャパンまでお問い合わせください。



3 再度、椅子をアンカーベースに取付ける時は、シート部(ボールが付いた状態)を持ち、アンカーベースにボールを差し込む。その際、アンカーベースにボールがきちんとはまるように押し込んでください。シートをセットした後に座面に荷重をかけてシートがはずれないようにしてください。

備考: リング付固定ポールも同様の作業で対応できます。

※椅子が正面を向かなくなった時も同様の作業(取外す→正面に向ける→取付ける)を行うと、椅子の向きを修正することができます。

● シート部をセットした後は

- 1 アンカーベースにボールがきちんと差し込まれていて抜けない。
- 2 シート部を上にも持ち上げても脚部から抜けない。
- 3 シート部が傾いたり、グラグラしていない。
- 4 シート部を回転させ、オートリターンが正常に動作する。

❗ 上記の4点を必ずご確認ください。